

1～6年
英語

番組名 「 プレ基礎英語 」

放送回 第12回 ぼくの得意なこと

実践者 岐阜県大垣市立中川小学校 英語活動部

寿司タウンに住むキャラクターとともに誰にでもわかりやすく、楽しく英語表現を学ぶことができる番組です。

番組の使い方

活用のねらい

今回の番組では、「～ができる。」 | can～の意味と使い方を理解する。番組を視聴することによって、実際の使用場面を視覚的聴覚的に理解することができる。

また、英語で相手に質問したり答えたりすることに慣れ親しむ。

具体的な手立て

全校放送を利用して全学年一斉に指導する。本時の課題を提示し、どのような単語、文を身につけるかを明確にする。(1分)

～番組視聴～(各学級)

番組で使われていた単語や文を復習する。(1～6年担任 2分)

理解と使用

授業の概要(1/5時間扱い)

単元の目標

低学年

できることを英語でリピートしながら言うことができる。

中学年

得意なことについて自分の立場で答えることができる。

高学年

What can you do?

相手のできることを聞くことができる。

単元のオリエンテーション(1分)

- ・進行役教師によって単元の目標を説明する。
- ・登場人物の得意なことについて、会話を聞き取ることを確認する。
- ・発達段階に合わせて補足しながらスキットを見せる。

番組視聴(10分)

- ・I can ～(～ができる。)の使い方が分かる。

HRTによるQ&A(2分)

- ・低学年(1～3年)
I can swim.
リピートしたり、自分の立場で答えたりすることができる。
- ・高学年(4～6年)
What can you do?
自分が得意なことを答える。
I can ～

生き生きと学ぶ子どもの姿

低学年では、英語だけのストーリーの展開を集中して観ることができていた。

中学年では、“I can ～.”が使われていたところに気付き、何が得意であるかがわかる子が多かった。

“I can ～.”を使って、自分の得意なことを言うことができる子が多く見られた。

高学年では、“What can you do?”に対して“I can ～.”と答えることができるようになった子が多かった。

高学年では、番組の中に出てくる“swim”を書くことができるようになった。

指導を終えて

校内放送を利用して、全校一斉指導を行っている。一週間のうち1～2回プレ基礎英語を活用し、本物の英語に楽しく接することを大切にしている。

分かりやすいストーリーと本物の英語で、児童たちは、楽しく英語を学んでいる。本時、多くの子が会話を理解できるようになってきたのは集中して視聴することができたからと考えられる。

